

## 町内会に入るメリットについて

### 1 【町内会とは】

昨今、自然災害が日本各地で多発しています。サポートが必要な高齢者も増えています。支援する行政は、人手も予算も不足しています。

そのため、自分たちの地域は、自分たちで住み良くしていく、そのための活動の拠点となる町内会組織は、不可欠な組織と言えるのではないのでしょうか。

### 2 【身近な地域での関係づくり】

近隣同士で挨拶を交わす関係を作るきっかけができます。また、活動を通して地域で顔見知りが増えれば、地域での困りごとで相談をしたいときに、声掛けできる方がすぐに思い浮かぶようになります。

### 3 【困りごとの解決】

町内会に加入することで、自分の状況を回りの人に知ってもらえ、困ったときには、近隣の会員の方が手を差し伸べやすくなります。そのため、市役所などへも



つなぎやすくなり、問題解決がしやすくなります。

### 4 【身近な地域の情報の入手】

生活に直結するごみや道路の問題、近隣の工事情報あるいはイベント情報など生活に密接した情報を入手しやすくなります。市役所等からだけでは不足する情報は、町内会から周知されることで、地域の細やかな情報を得やすくなります。



### 5 【防災・防犯】

災害対策の準備、防犯活動、子どもの通学時の安全対策などは、一人で気をつけていても限界があります。町内会では、ネットワークを活用して、地域を守る活動や防災対策を充実させることで対応することができます。これからの少子高齢が進む社会においては、子どもや高齢者を見守る町内会の活動が大きな支えとなっていきます。

自分や家族だけでは守れないところを補ってくれる町内会の見守り活動などは、大きな意味があります。

町内会に加入する最大のメリットは「防災・防犯」の備えだと言えるのではないのでしょうか。例えば、95年の阪神・淡路大震災のとき、救



助された人の 8 割は、家族や近所の人たちによって助けられました。町内会での交流を通じて地域で顔の見える関係ができていれば、大災害のときに『あれ、〇〇さんがいないけど大丈夫かな…』と誰かが気づいて、救助を要請してくれるかもしれません。

また、町内会に入っていれば、災害時に有益な情報を得られることもあります。震災があったとき、被災者は国や自治体に申請を出すと補償を受けられる場合があります。しかし、阪神淡路大震災で被災した際、申請期限当日の午後、初めてそうした制度があることを知ったという方もいて、町内会に加入していないと、そういった情報が入ってこないこともあります。平時と異なり混乱の中では個々の住宅にまで情報が届かず、町内会を通じて回ってくることもあります。



不審者情報なども同様に、町内会を通じて回ってくることもあります。

町内会に入っていないがために防災・防犯の情報が不足する可能性もありますので、町内会への加入は必要ではないでしょうか。

## 6 【個人では解決が難しい事案の実現に向けて】

広範囲の美化活動を一人で行うのは、大変です。高齢者や子どもの見守りを一人で行う



のも、大変です。地域の祭りなどのイベントを行うことも一人ではできません。ごみ問題、道路陥没、危険個所の解決も一人では、大変です。みんなで行えば実現できることも多くあります。みんなで市役所に要望すれば支援を受けやすくなります。

「活動の時間がとれない」などのご意見も多くありますが、まずは町内会に入って、安心安全の生活を確保しましょう。そして、豊かな地域環境を一緒に作っていきましょう。

